

小学校での教科担任制実施校の拡充

～今まで以上に分かりやすい授業を目指して～

1 目的

令和2年度からの小学校における新学習指導要領の完全実施に合わせて、試行的に導入した小学校高学年での教科担任制について、令和3年度から実施校を拡充し、児童の学力向上や学校生活の充実を図ってまいります。



2 日時及び場所

令和2年度から教科担任制を導入した、勝川小学校、高座小学校、大手小学校の3校を含む18小学校で実施します。

3 実施内容等

各実施校高学年のクラス数や担当する教員等の状況を判断し、英語を中心とした複数教科で教科担任制を実施します。これにより、教材研究の深化や授業準備の効率化による教科指導の専門性や指導力の向上を図り、より分かりやすい授業を展開することで、児童の学力向上を図ります。また、子どもたちに関わる教員が担任以外に増えることで、いじめの未然防止や早期の認知も期待できることから、子どもたちが今まで以上にいきいきと充実した学校生活を過ごせるようになるとともに、保護者との信頼関係の醸成にも効果が発揮できると考えています。

4 予算額

報 酬 11,802 千円（教科指導講師人件費）
職員手当等 1,631 千円（教科指導講師期末手当）

5 その他

令和3年1月26日に文部科学省から公表された、中央教育審議会初等中等教育分科会の「義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方」においても、令和4年度を目途に小学校高学年からの教科担任制を本格的に導入する必要があるとしており、対象とすべき教科の例として英語、理科、算数が挙げられていることから、次世代を担う子どもたちへの、さらなる学習環境の整備促進を目的に、英語専科教員を中心に拡充して配置するものです。